



C型慢性肝炎患者に対するIFN(リバビリン併用)療法の 病診連携パス(かかりつけ医用①)(2週間入院)

かかりつけ医:

病院・医院
クリニック

先生

大垣市民病院主治医名:

看護師名:

HCV 陽性患者に対しかかりつけ医で行う検査

- ☐ 肝機能検査
☐ 血小板、その他の生化学的検査
☐ 肝がんスクリーニング(超音波検査、腫瘍マーカー測定)

患者氏名:

様

患者 ID

かかりつけ医:

大垣市民病院:

時間 項目	病院への紹介	入院(0~2週目)		3、4週目		5、6週目		7、8週目	
		月 日() ~ 月 日()	月 日() ~ 月 日()	月 日() ~ 月 日()	月 日() ~ 月 日()	月 日() ~ 月 日()	月 日() ~ 月 日()	月 日() ~ 月 日()	月 日() ~ 月 日()
説明・指導 (栄養・服薬)	☐ 上記検査を実施し、専門医への紹介 基準を満たす患者を大垣市民病院へ 紹介する。	☐ 大垣市民病院に入院、IFN(+RBV) 導入を行う。		☐ 大垣市民病院の外来にて検査および IFN(+RBV)投与を行う		☐ 大垣市民病院の外来にて検査および IFN(+RBV)投与を行う		☐ 大垣市民病院の外来にて検査および IFN(+RBV)投与を行う 退院時のデータをかかりつけ医に ☐ 速やかに連絡する	
検査	☐ 肝機能検査(ALT) ☐ 生化学的検査(血小板) ☐ 超音波検査 ☐ 肝がん腫瘍マーカー測定(AFP)								
治療・処置		☐ 検査結果を確認後、インターフェロン ()を(皮下・筋肉) 注射する。 ・0 週目: μ g/body、注射部位: ・1 週目: μ g/body、注射部位: ・2 週目: μ g/body、注射部位:		☐ 検査結果を確認後、インターフェロン ()を(皮下・筋肉) 注射する。 ・3 週目: μ g/body、注射部位: ・4 週目: μ g/body、注射部位:		☐ 検査結果を確認後、インターフェロン ()を(皮下・筋肉) 注射する。 ・5 週目: μ g/body、注射部位: ・6 週目: μ g/body、注射部位:		☐ 検査結果を確認後、インターフェロン ()を(皮下・筋肉) 注射する。 ・7 週目: μ g/body、注射部位: ・8 週目: μ g/body、注射部位:	
薬剤		☐ リバビリンは以下の通り開始する。 コペガス(朝食後: 錠、夕食後: 錠) or レベトール(朝食後: p、夕食後: p)		☐ リバビリンの服薬状況を確認する。 ・3 週目: 朝食後() 夕食後() ・4 週目: 朝食後() 夕食後()		☐ リバビリンの服薬状況を確認する。 ・5 週目: 朝食後() 夕食後() ・6 週目: 朝食後() 夕食後()		☐ リバビリンの服薬状況を確認する。 ・7 週目: 朝食後() 夕食後() ・8 週目: 朝食後() 夕食後()	
症状観察 ・記録 (副作用)				☐ 全身障害(発熱、倦怠感、筋肉痛) ☐ 消化器症状 (腹痛、食欲減退、下痢、嘔気) ☐ 皮膚症状(発疹、掻痒症、脱毛) ☐ 精神症状(不眠、うつ状態、めまい) ☐ 呼吸器(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難) ☐ その他()		☐ 全身障害(発熱、倦怠感、筋肉痛) ☐ 消化器症状 (腹痛、食欲減退、下痢、嘔気) ☐ 皮膚症状(発疹、掻痒症、脱毛) ☐ 精神症状(不眠、うつ状態、めまい) ☐ 呼吸器(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難) ☐ その他()		☐ 全身障害(発熱、倦怠感、筋肉痛) ☐ 消化器症状 (腹痛、食欲減退、下痢、嘔気) ☐ 皮膚症状(発疹、掻痒症、脱毛) ☐ 精神症状(不眠、うつ状態、めまい) ☐ 呼吸器(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難) ☐ その他()	
栄養 (食事)				☐ 食事摂取量 ・3 週目: 朝() 昼() 夕() ・4 週目: 朝() 昼() 夕()		☐ 食事摂取量 ・5 週目: 朝() 昼() 夕() ・6 週目: 朝() 昼() 夕()		☐ 食事摂取量 ・7 週目: 朝() 昼() 夕() ・8 週目: 朝() 昼() 夕()	
バリエンス		☐ あり() ☐ なし		☐ あり() ☐ なし		☐ あり() ☐ なし		☐ あり() ☐ なし	

(バリエンス) A: 患者・家族の要因(1.身体的状況、2.意思、3.時間、4.学習能力不足

B: 医療スタッフ要因(1.医師、2.看護師、3.その他)

C: 病院システム要因(1.情報やデータ、2.設備・機材器具、3.検査・手術、4.ベッド状況)

D: 社会要因(1.退院後の設備、2.ケア提供者、3.移送介助、4.設備や器具)

大垣市民病院 消化器内科 平成 19 年 9 月作成